

Profile

綱川立彦 (バリトン)【ヴォイストレーナー】



武蔵野音楽大学卒業および大学院修了。福岡敬晃、ルドルフォ・リッチ、リヒャルト・ホルム、畑中更予、畑中良輔ほか諸氏に師事。これまで二期会、東京室内歌劇場、民音、紀尾井ホール、奏楽堂、詩と音楽の会、音楽の友社、正派合奏団、音楽工房、日本演奏連盟、東京コンサーツ、日本歌曲振興波の会などが主催するオペラ及びコンサートに出演してきた。また自身のリサイタルも積極的に行っている。さらにその歌唱は、NHK-FMリサイタル、ラジオ第2『新しい日本の歌』、TV朝日『題名の無い音楽会』などでも紹介された。新作の初演を最も得意としており、奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門の演奏者として、第1回から本年まで起用され、これまで20数曲の入賞、入選曲を初演している。演奏活動の一方、後進および合唱の指導にも力を入れている。第1回奏楽堂日本歌曲コンクール第3位受賞。第3回同コンクール第2位受賞。木下保賞受賞。東洋大学白山グリークラブ、燕友合唱団、宇都宮高校合唱部ヴォイストレーナー、麻布童謡唱歌を楽しむ会指揮者。秋草学園女子短期大学及び和泉短期大非常勤講師。日本演奏連盟会員、青の会同人、二期会会員。(公財)音楽文化創造編集委員、二期会ドイツ歌曲研究会実行委員、二期会研究会駅伝コンサート実行委員、日本歌曲振興波の会理事。

平井秀明 (指揮者・作曲家)【客演指揮者】



幼少よりピアノと作曲を祖父・平井康三郎に、チェロを父・平井文一朗に師事。桐朋高校を経て、米国立チェスター大学政治学科卒業。1997年第6回フラデッツ・クラロベ国際指揮者コンクール第1位。東京フィルなど国内主要オーケストラに客演する一方、新国立劇場にて『フィガロの結婚』ほかを指揮。自作のオペラ『かくや姫』、『小町百年の恋』、『白狐』は、ザルツブルク、プラハ、豪州、ロサンゼルスほか内外で50回以上上演。2010年チェコ・ヴィルトゥオーゾ室内管弦楽団首席客演指揮者に就任。2012年ウィーン国立歌劇場にて鮮烈な指揮デビューを飾り、2013年同歌劇場に再登場。同年には米国カーネギーホール指揮デビューが絶賛され、2014年ニューヨーク祝祭管弦楽団音楽監督就任。2017年5月、殿堂ウィーン・コンツェルトハウス指揮デビューで成功を収め、ウィーン・クラング・アンサンブル首席客演指揮者に就任。同年10月、バチカン市国サン・ピエトロ大聖堂にて自作アヴェ・マリアの指揮、およびローマ法王への献呈が許されたほか、ローマ・トレ管弦楽団指揮デビューの成功により、2019年にはロッシ二歌劇場デビューが決定するなど、国際的な活躍が注目を集めている。

中山美紀 (ソプラノ)



横浜市出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業、同大学院独唱専攻修了。アカンサス音楽賞及び同声会賞を受賞。第30回国際古楽コンクール(山梨)声楽部門第3位(最高位)など、多数のコンクールにて入賞。主に宗教曲の分野で活動し、これまでヘンデル《メサイア》、J.S.バッハ《口短調ミサ曲》、モーツァルト《レクイエム》、ベートーヴェン《第九》、フォーレ《レクイエム》、オルフ《カルミナ・ブラーナ》、マーラー《交響曲第4番》《千人の交響曲》等のソロを務める。神奈川県立弥栄高等学校音楽科非常勤講師。バッハ・コレギウム・ジャパンメンバー。

但馬由香 (メゾ・ソプラノ)



武蔵野音楽大学大学院声楽専攻修了。藤原歌劇団のオペラ「ラ・チェネレントラ」(シンデレラ)ティーズベ役にてデビュー後、同公演「椿姫」アンニーナ役、「リゴレット」小姓役、「どろぼうかささぎ」ピッコポ役などに出演。2014年には藤原歌劇団のCD「藤原歌劇団CD「Bravil vol.2」(徳間ジャパン)に収録。また今春、同公演「ラ・チェネレントラ」にて初の主演(シンデレラ役)を務め好評を博した。宗教曲においても多くの公演に出演している。元武蔵野音楽大学附属音楽教室講師。第31回飯塚新人音楽コンクール第一位。藤原歌劇団団員。

根津久俊 (テノール)



東京都出身。東京藝術大学声楽科卒業。太田直樹、吉田浩之、櫻田亮の各氏に師事。『ドン・ジョヴァンニ』オッターヴィオ、『絹のはしご』ドルモン、『蝶々夫人』ゴロー、『ラ・ボエーム』ロドルフォ、『魔笛』モノスタスなどの他、多数オペラや宗教曲のソリストとして出演。市川市文化振興財団「第29回新人演奏家コンクール」優秀賞、「第2回日光国際音楽祭声楽コンクール」第3位奨励賞を受賞。現在はサントリー・オペラアカデミー、プリマヴェーラコースに在籍し研鑽を積む。二期会オペラ研修所第61期マスタークラス修了。修了時、優秀賞受賞。二期会会員。

奥村泰憲 (バス)



広島少年合唱隊出身。エリザベト音楽大学宗教音楽学科卒業、同大学院修了。セルビアとルーマニアに短期留学。広島市立小学校勤務後、ウィーン国立音楽大学声楽科、プライナー音楽院指揮科・オペラ科で研鑽を積む。ウィーンでシュッツ「マタイ受難曲」イエス役でソリストデビュー、またグルック「トリーードのイフェジェニー」トアス王を歌いオペラデビュー。「クリスマスオラトリオ」「天地創造」第九などソリストを多数務めオペラでは「魔笛」「ラ・ボエーム」「カルメン」など約40役を演ずる。2012年帰国。現在5団体の指導を務める。

田中悠一郎 (ピアニスト)



群馬大学教育学部音楽専攻卒業、同大学院教育学研究科修了。2011年に渡独、カールスルーエ音楽大学大学院リート科を最優秀の成績を得て修了。ヨーロッパでの研鑽を積んだ後、2014年に帰国、帰国後第25回友愛ドイツリートコンクール、平成27年度奏楽堂日本歌曲コンクール、平成29年度第1回座間日本歌曲コンクール、平成30年度第1回日本歌曲コンクールin薬師寺において優秀共演者賞を受賞。歌曲伴奏法を塚田佳男、子安ゆかり、M.ハドゥラの各氏に師事。現在、歌曲伴奏ピアニストとして、活発に活動している。国立音楽大学嘱託演奏員、群馬県立西邑楽高校音楽コース講師。

新保あかり (ピアニスト)



東京音楽大学ピアノ科卒業。これまでに著名な指揮者、歌手、合唱団と共演し、リサイタル、ガラコンサート、ディナーショー、スクールコンサート、定期演奏会に多数出演している。またオーケストラの鍵盤楽器奏者を務める事も多く、文化庁オペラ公演では、東京フィルハーモニーと同行した。立教大学、明治大学、早稲田大学、東洋大学の定期演奏会に出演、及び、講師として招かれ演奏を披露。N響定期公演、オペラ彩公演、文化庁オペラ公演、杉並区民オペラ、東京室内歌劇場、東京オペラプロデュース、平井秀明プロデュースオペラ公演、二期会オペラ振興会、新国立劇場等で音楽スタッフとして公演に携わり貢献している。

チケット

全席自由 前売り券 500円/当日券 1000円

定期演奏会実行委員長 根岸志帆

MAIL:glee.negishi22@gmail.com TEL:090-6343-9681

後援 東洋大学校友会・浦水会